

# 鳥と昆虫の広場公園(ビオトープの設置)

ビオトープは、ドイツ語で生物(bio)と場所(topo)を示す造語で、動物や植物が恒常的に生活できるように造成または復元された小規模な生息空間のことをいいます。

川辺川ダム事業では自然環境と調和を図る取り組みの一環として、平成6年7月に付替国道445号の工事により発生した残地を有効利用し、野鳥と昆虫の生息空間としての広場を設置しました。

生態系の底辺にあたる生物の生息からスタートしたこの施設ですが、これまでに生態系の頂点にあたる猛禽類の姿も確認され、生態系の確立したビオトープとなっています。



位置図



## 鳥と昆虫の広場公園の概要

§ 位置 熊本県球磨郡五木村小浜

§ 面積 1,700m<sup>2</sup> (約 514坪)

§ 設置年月日 平成6年7月

§ 施設

### 1. 小鳥の水飲み場

小鳥の餌になる木の植栽 小鳥の砂浴び場  
小鳥の水浴び場、水飲み場

### 2. 昆虫広場

小鳥の餌になる木の植栽 カブトムシ類の産卵場  
クワガタムシ類の産卵場 止まり木  
小動物のすみ家、越冬場所 など



小鳥の水浴び場、水飲み場



クワガタムシ類の産卵場



昆虫類や小動物の越冬場所、小動物の避難場



生態系ピラミッドの底辺が広い方が生態系は豊かになります。

現在、生息する生物は食物連鎖のバランスにより形成されます。その繋がりのことを「生態系」と呼びますが、“ある種の生物を守りたい”と思っても、その種を守るだけでは十分ではありません。

“ある種の生物を守ること”、そのためには、その種を含む生態系を守っていくことが必要となり、その一つ的手段としてビオトープの整備が挙げられます。

# 鳥と昆虫の広場公園(ビオトープの利用)

「鳥と昆虫の広場公園」は、池、樹木、草地、砂地、岩場などの多様な生息空間を整備しており、現在では生態系の頂点に位置する猛禽類をはじめ、鳥類、ほ乳類、は虫類、両生類、昆虫、魚類など多くの生物に利用されています。



ベニシジミ



ニホンジカの角研ぎ跡



ジョウビタキ



コゲラ(営巣)



イノシシ(食餌、水飲み)

ショウジョウトンボ(生息場)→



←アオガエル



ニホンミツバチ(集密)



ニホンザル(水飲み)



クワガタムシ等の幼虫(産卵場)

# 鳥と昆虫の広場公園(利用状況)

鳥と昆虫の広場公園では、シカやニホンザル、イノシシなどの哺乳類をはじめ、シジュウカラやジョウビタキ、カワラヒワなどの鳥類やオニヤンマやシジミチョウなどの昆虫类等、数多くの生物に利用されています。

## 哺乳類



年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
シカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タヌキ	○	○								
アナグマ	○	○		○			○		○	○
テン	○	○		○				○	○	○
サル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イノシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウサギ						○		○		
イタチ								○		
ホンドイタチ		○								

## 両生・爬虫類



年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
イモリ		○								○
ヘビ		○								
ヤマカガシ										
ヒバカリ									○	
ヤマアマガエル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒキガエル						○			○	○
アオガエル									○	○
シュレーゲルアオガエル									○	○
アマガエル									○	○

## 鳥類



年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
キセキレイ	○		○							
セグロセキレイ									○	
ハクセキレイ									○	
セキレイ属					○					
キジバト	○	○	○	○						
ホオジロ	○	○	○						○	○
ヤマセミ	○	○	○							
カワセミ		○								
ヤマバト				○	○					
シジュウカラ	○	○			○	○	○	○	○	○
ヒヨドリ	○				○	○				
ヤマドリ		○							○	
メジロ	○	○					○			
ゴジュケイ	○									
ゴイサギ	○		○	○						
コゲラ				○	○					○
アオゲラ					○					
ハト		○		○	○		○			
カワラヒワ				○	○		○			○
ヤマガラ		○		○						○
コガラ									○	
カケス						○				
ノスリ										○
アオサギ										○
アオジ										○
ジョウビタキ	○			○		○	○			○
シロハラ						○	○			
モズ	○									
エナガ		○				○				
カラス	○			○						
サシバ				○		○				
ハイタカ			○							

## 昆虫類



年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
トクマルハナバチ										
ニホンミツバチ	○	○		○	○					
ヒメスズメバチ										
コムルハナバチ										○
スズメバチ										○
ムギワラトンボ										○
シオカラトンボ				○						○
オニヤンマ						○	○	○	○	○
ショウジョウトンボ						○	○	○	○	○
アキアカネ						○	○	○	○	○
ナツアカネ						○	○	○	○	○
ヒメアカネ						○	○	○	○	○
ミヤマアカネ	○								○	○
マルタヤンマ										
ホソミイトトンボ								○		
オオシオカラトンボ										○
ベニトンボ										○
アオイイトトンボ										○
ムギワラトンボ										○
ネキトンボ										○
カトリヤンマ										○
ウスバキトンボ										○
コミスジ							○	○		
アサギマダラ								○		
ウラギンシジミ								○		
キチョウ								○		
モンキチョウ		○						○		
シジミチョウ								○		
ゴマダラチョウ	○									
ツマキチョウ										○
モンキアゲハ										○
カラサアゲハ										○
ジャコウアゲハ										○
オミスジアゲハ										○
モンシロチョウ										○
スジグロシチョウ										○
クロヒカゲ										○
ベニシジミ										○
クロアゲハ										○
コチヤバネセウ										○
サカハチチョウ										○
アカタテハ										○
ヒメハルゼミ						○				
ヒメガムシ		○								
カブトムシ	○									○
クロガタ		○								○
ヒラタクロガタ	○									○
コクロガタ				○	○					
ミヤマガタ										○
ハクモク										○
オトシ										○
アタ		○								○

※ ○印は、環境巡視員(モニタリング)により確認されたことを示しています。